令和3年11月2日

広報広聴委員会記録

阿久根市議会

1. 日 時 令和3年11月2日(火) 9時53分開会
11時43分散会
2. 場 所 第2委員会室
3. 出席委員 竹之内和満委員長、白石純一副委員長、
濱門明典委員、竹原信一委員、牟田学委員、山田勝委員
4. 事務局職員 議事係主任 松崎 正幸
5. 会議に付した事件
(1) 議会だより213号の最終チェック
(2) 令和3年度議員と語る会の開催について
6. 議事の経過概要 別紙のとおり

○議会だより213号の最終チェック

竹之内和満委員長

ただいまから広報広聴委員会を開催いたします。

本日は、議会だより213号の最終チェックと、令和3年度議員と語る会の開催についての2件を議題といたします。

初めに、議会だより213号の最終チェックを議題といたします。

チェックのため、暫時休憩します。

(休憩 9時54分～10時50分)

竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

修正箇所等について、表紙より順に確認します。

2ページは、補正予算一般会計の可決のところは、「補正予算4億2200万円の追加を可決しました。その結果、一般会計予算は123億2356万円余となりました。主な追加補正分は以下のとおりです。」と書き出し、災害復旧費を2億2795万円余に、宿泊事業等への支援給付金を1707万円に修正。特別会計のほうは、介護保険特別会計を二つの事業勘定を合計したものを記載する。陳情のところは、運転延長の次の括弧閉じを削除し、件の陳情の次に括弧閉じを挿入。また、「総務文教員会」を「総務文教委員会」に修正し、文末を「付託の継続審査としました。」とする。

3ページは、一番上の見出しの字を青色にする。条例改正のところは、「法改正に伴う市条例の一部改正を可決しました」と書き出し、「個人の市民税の非課税の範囲等」と「個人番号カードの再交付に係る手数料等の廃止」を箇条書きにする。意見書提出のところは、意見書名を「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書」とし、「採択」を「可決」に修正。写真については変更するかどうか副委員長と協議します。

4ページは、4段目11行目の「菅」を「管」に修正する。左下の継続審査の内容をゴシック体にする。

5ページは、産業厚生委員会の左側の2枚の写真間を縮め隙間をなくす。下の表の議案39、40、44、45の「阿久根」を削除し、45は「について」も削除する。

6ページは、写真の変更があるそうです。それから、一番下の段の市長答弁、「支援検討」を「支援を検討」に修正する。

7ページは、牟田委員の一番下の段の中ごろ、「が理済み」を「が処理済み」に修正。仮屋園議員の初めの質問「見通し悪く」を「見通しが悪く」に、一番下の段の「増設の予定」を「県は増設の予定」に修正する。

8ページは、竹原議員の市長の大きな答え「なくなはい」を「なくはない」に修正。

9ページは、皆さんの声に背景色をつけます。

最後のページは、委員からの一言の3段目、「接触あった」を「接触のあった」に、「進めば、性差は」を「進み、性差を」に、「来るのかもかもしれませんが。」を「来ることを望みます。」に修正します。

以上のとおり修正することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

ただいまの修正を事業者に依頼し、校正されたものをモアノートにアップします。アップ後は速やかにライングループにて連絡いたします。校了日は11月8にですので、それまでに何か気づいたこと等ありましたら、委員長もしくは事務局に御連絡ください。

○令和3年度議員と語る会の開催について

竹之内和満委員長

次に、令和3年度の議員と語る会の開催について議題といたします。

前回の委員会では、学校規模適正化をメインテーマとして風テラス等を利用して議員全員が参加する形で1回、もしくは2回開催する方法がよいのではないかと協議いたしました。本日は、そのことについて具体的に決めていきたいと思っております。

前回協議したとおり、風テラスで1回ないし2回開催するということがよろしいでしょうか。

白石純一委員

2回と前回言ったかもしれませんが、2回でも3回でもいいと思うのですけれども、1回は風テラス阿久根、もう1回は別の場所で。風テラス阿久根でやる必要も必ずしもないと思うのですけれども、2か所もしくは3か所で、しかも平日の夜と土日の昼とかに分散して行うことが望ましいのではないかと思います。

竹之内和満委員長

同じ場所で平日・土日に分けるだけではなくて、他の場所でも開催したいということですね。

山田勝委員

対象者はどれぐらいおるの、対象者は。

竹之内和満委員長

対象者は市民の皆さん全員ですね。

牟田学委員

その前に、学校規模適正化の委員長とは話をされたのですか。

竹之内和満委員長

委員長とは具体的にはしていないのですが、一応その方向でいきたいと思います。ただ、こちらのほうに主導権がありますので、こちらで決めれば向こうは従うということになります。

す。

竹原信一委員

やっぱり、その委員長との話を先にしたほうがいいような気がしますよ。熱い思いを持って来る人が多分いるんだろうと思います、そっちに。だからそっちをメインにするんであったら1回でいいんじゃないかなという気もするんですよ。だから、そっちの委員長としっかり話をしてもらって、その上で回数・場所を決める形にしたほうがよろしいかと思いますが、いかがでしょうか。

白石純一委員

今、1回でもいいんじゃないかということですが、少なければ少ないほどいいのですが、我々にとってはですね。ただし、市民から考えると、どうしてもその日に都合がつかない方もおられるわけで、平日の夜が仕事の保護者の方もおられるでしょうし、そういうことを考えると、やはり複数回で、平日の夜と土日の昼というふうに2回以上行ったほうがより多くの方の意見を聞けるので、議会の姿勢としてそうあるべきかなと思います。

牟田学委員

ただ、教育委員会が配付した保護者に対しての説明会の出席者を見れば、なかなか厳しいものがあつたと思うんですよ。その辺も考慮して何回するのか。必ずしも多い出席じゃなかったと思うんですよ。

竹之内和満委員長

同じ場所で1回ないし2回、そして平日と土日ということについては前回は意見がでたのですが、これについてはどうですか。場所はさて置き、回数は。

牟田学委員

風テラスを大体真ん中あたりとしたときには、北部と南部でも。場所があればですね。

竹之内和満委員長

数か所に分けてということですね。

ほかには。

山田勝委員

中部・南部ひっくるめて、大川・西目・山下・阿久根と校区を検討したときに、風テラスで1回、折口の施設で1回の2回ぐらいでいいのかなと思います。

竹原信一委員

議論が紛糾というか深まってきたら、もうちょっとよく考えて話ししようということになったりすることを私は想定しているんですけども、そしたら同じところで2回やるという手もあるよねと。そしたら、次までに考えてからもう1回しましようかという終わり方もできるじゃないですか。今回の、特に学校規模の話は深い問題。お知らせをすればじゃなくて本当に議論しましょうねとするには、同じところで2回するというほうがいいかもしれないと思います。

山田勝委員

私はやってみたら分らないよって思います。やってみて、皆さんの御意見を聞き、いろんな話を聞きながら、これならもう1遍話をせな収まりがつかないねっていう結果が出てくると思いますよ。そうしないとね、今、牟田委員が言うように、教育委員会がやったって協議がないんですよ。そういう中で会をやってみて、その結果を見ないとどうしようもできない気がするんだがなあ。1回やってみようよというほうが、かえって成果が上がる気がします。

牟田学委員

学校規模適正化の委員長ともよく話をされて、とにかく1回やろうということをお願いしたいと思います。

白石純一委員

まず1回やってみるというのは、私も非常に大事だと思います。ただ、その1回といったときに、私が先ほども言い、これまでの議員と語る会でもそのようにしていたのは、やはり平日の夜が仕事の方、あるいは土日が仕事の方もいらっしゃるので、議会としては、仮に人が来られなくても平日の夜と土日の昼という選択肢を市民に、意見を言う機会を与えることは最低限必要なことではないかと思っています。

竹之内和満委員長

私が考えますに、一番問題なのは阿久根地区なんですね、統廃合するのは。三笠・折口地区については小中一貫校になるということで、学校はそのまま残る形になりますので、小中一貫校と言っても中学校の先生が小学校に教えに来てくれたり、小学校・中学校で何かのイベントをしたりと、その程度の緩やかな連携ですのでほとんど問題はないと思います。したがって、やはりこちらを中心にやってみるべきかなと、統廃合対象の地域ですね、7小学校の地域でやったほうがいいかなというふうに思います。

白石委員が言われた平日の夜と土日の昼間、これについてはどうでしょうか。私はいいいのかなと思っていますけれども。

山田勝委員

集まってくる対象者を考えたときに、子供のいないところの方というのは、あんまり来ない、興味はないです。だから、一番切羽詰まっているのは、やはり現在子供がいる方々。あるいは、来年・再来年学校に行く方々が主になると思うんですよ。そう考えたときに、全然働いている人だということだったら、やはり土日の夜がいいと、夜でないといけななという気がします。

竹之内和満委員長

土日の夜に1回開催ということですか。

山田勝委員

まずやってみらないかんから。

白石純一委員

土日は夜でも昼でも。おっしゃるように子育て世代の方がより参加できる時間帯でいい

と思います。ただし、そのときにできれば託児のできるスタッフで、例えば別室で子供を預かってくれるとか、そういったことがあれば実際子育てをされている世代が来やすいと思いますので、その辺りも考慮できればと思います。

竹之内和満委員長

子供たちを見てくれる、幼稚園の先生とか、そういう。

白石純一委員

市の保育園があるわけですから。

濱門明典委員

確かに今度は学校規模適正化というのが主題になるかと思いますが、一般的な市政に対する意見も出てくると思います。そういう中で、土日の6時半か7時頃から、皆さんがゆっくりできる時間帯で2回はやっていいかなと思います。

竹之内和満委員長

2回開催も同じ日に2回開催するのか、それとも別日にするのか、どうでしょうか。

竹原信一委員

1回目をやってみて、その中身の深まりみたいなものを考えると、同じ日ではないほうがいいんじゃないかなと思いますよ。最初で1回やります、2回目をやるかやらないかを含め、やっぱやるかやらないかは最初で決めちゃうのかな。

〔発言する者あり〕

竹之内和満委員長

最初で決めないと、後々大変ですね。最初で予定にしていないと。

山田勝委員

予定はそういう気持ちでおらないかんけど、まず1回やってみないと分からないじゃないですか。思ったより興味ないのか、思ったよりすごいのか。

濱門明典委員

とにかくですよ、やるにしろ周知が一番です。区長や理事のほうへの連絡、そこらの徹底をしないと、放送も何回かしてもらって。待ち遠しかった市民と語る会というようなフレーズでやれば、話したい人がいっぱい寄って来るんじゃないかと。風テラスで、大きなところで大々的にですね、そういう周知が大事じゃないかなと思いますが。

竹原信一委員

じゃあ、なるべく早い時期に1回やる。そして、動きをスムーズにすれば最初で2回目やるやらないを決めなくても大丈夫な気がしますね。

白石純一委員

まずやってみる、その第1回目というのを、少なくとも私は先ほど言った理由で2回で1セットという、場所と時間帯を変えてですね、2回で1セットという意味で1回やってみるということが必要だと思います。

竹之内和満委員長

それは同日にですか。

白石純一委員

いや、別の日で。

山田勝委員

1回やってみれば、いろんな問題が出てきます。皆さん方の考える余裕も出てきます。そういう意味の1セットならいいと思いますよ。とにかく1回やってみらんな、分からんでや。

竹之内和満委員長

広報をかけて1回やってみて、もう1回するのであれば広報をかけてするということがすかね。

濱門明典委員

1回やった時点で課題がいろいろと見えてくると思いますので、そこでまた我々も2回目について検討すればいいんじゃないでしょうか。

〔発言する者あり〕

竹之内和満委員長

休憩します。

(休憩 11時09分～11時39分)

竹之内和満委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

託児所に関してはちょっとこちらのほうで予算等検討します。する方向では考えたいと思います。

開催については、いろんな人たちが来れるよう時間帯を変えた2回開催、これについてはどうでしょうか。

〔「それでいいと思います」と呼ぶ者あり〕

それでは、時間帯を変えた2回開催を1セットとした開催を、次するかは別問題として、まず1回してみると。あと日程なんですけど、なるべく早くとしても、どうしても年を越えると思うのですが、それでよろしいですかね。

白石純一委員

今までの議員と語る会でも、団体と語る会は1月か2月にやっていたと思います。もちろん、2月の終わりになると議会の準備がありますので、1月か、遅くとも2月の中旬までということではいかがでしょうか。

竹之内和満委員長

市報に確か案内を入れますよね。

竹原信一委員

市報を待ちやいかん。

白石純一委員

市報で告知することも一つの大事な手段なので、1月15日前後に出ると思いますので、例えば1月20以降であれば1月の市報も使えるということになるかと思います。

竹之内和満委員長

年が明けてからできるだけ早いうち、1月終わりか2月ということでもよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

濱門明典委員

曜日に関しては。

竹之内和満委員長

土日の昼、平日の夜ですかね。

〔発言する者あり〕

日曜の昼、平日の夜でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

一応そのように決定いたします。あとは学校規模適正化特別委員長と話をして、今の意見を言って了承をもらいます。

〔竹原信一委員「柔軟に対応して」と呼ぶ〕

はい、柔軟にということ。

そのようなことで、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、そのように決しました。

そのほか、何か御意見等ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、以上で広報広聴委員会を散会いたします。

(散 会 11時43分)

広報広聴委員会委員長 竹之内和満